



Ideas & Chemistry

2018.8.6

2018年度第1四半期 決算説明資料



Catalyzing the Unimagined

想像を超える化学反応を。



Ideas & Chemistry

www.toyobo.co.jp

東洋紡株式会社

- I. 2018年度第1四半期決算の概況**
- II. 2018年度業績見通し**

I. 2018年度第1四半期決算の概況

決算のポイント

第1四半期実績

- 営業利益53億円(7.3%増)、当期純利益31億円(9.5%増)は計画線上
- 成長ドライバーの“コスモシャイン SRF”、セラコン用離型フィルムは販売好調
- エアバッグ用基布は海外顧客への販売を伸ばすも、原料価格高騰の影響あり

通期予想

- 計画線の推移にあり、通期予想の営業利益250億円は据え置く

(億円)

	2017年度 1Q	2018年度		増減 % ('17 1Q→'18 1Q)
		1Q	通期	
売上高	785	808	3,400	+2.9
営業利益	50	53	250	+7.3
親会社株主に帰属 する当期純利益	28	31	130	+9.5

決算概要 PL

	2017年度 1Q	2018年度 1Q	増減 ('17→'18)		(億円)
			金額	%	
売上高	785	808	+23	+2.9	
営業利益	50	53	+4	+7.3	
(営業利益率)	6.4%	6.6%	-	-	
経常利益	43	48	+5	+10.6	
親会社株主に帰属する 当期純利益	28	31	+3	+9.5	
EPS (円) ※	31.6	34.6	-	-	
減価償却費	38	39	+1	+1.9	
設備投資	48	44	-4	-7.5	

為替レート (円/US\$)

112

109

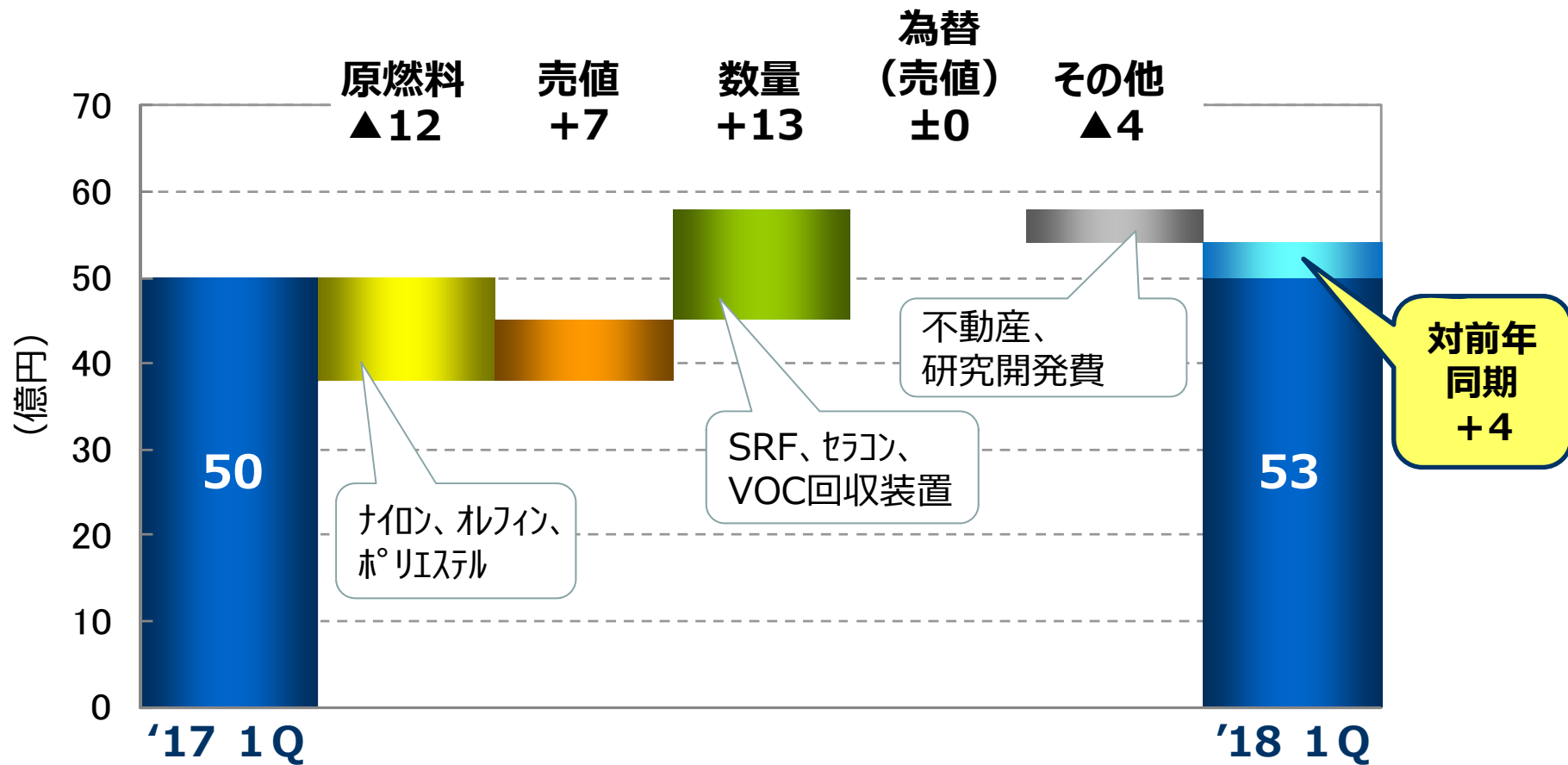
国産ナフサ (千円/kl)

39

49

※EPSは株式併合後の値

営業利益の増減要因（前年同期比）



	2017年度 1Q	2018年度 1Q
為替レート (円/US\$)	112	109
国産ナフサ (千円/kl)	39	49

決算概要 BS

	18/3末	18/6末	増減金額 (18/3→18/6)
総資産	4,455	4,401	-54.0
現預金	260	219	-41.4
棚卸資産	713	755	+41.7
純資産	1,845	1,855	+9.4
自己資本	1,806	1,804	-1.9
(利益剰余金)	561	555	-5.9
非支配株主持分	40	51	+11.4
有利子負債	1,456	1,445	-10.5
D/Eレシオ	0.81	0.80	-

(億円)

「税効果会計に係る会計基準の一部改正」等を適用しています

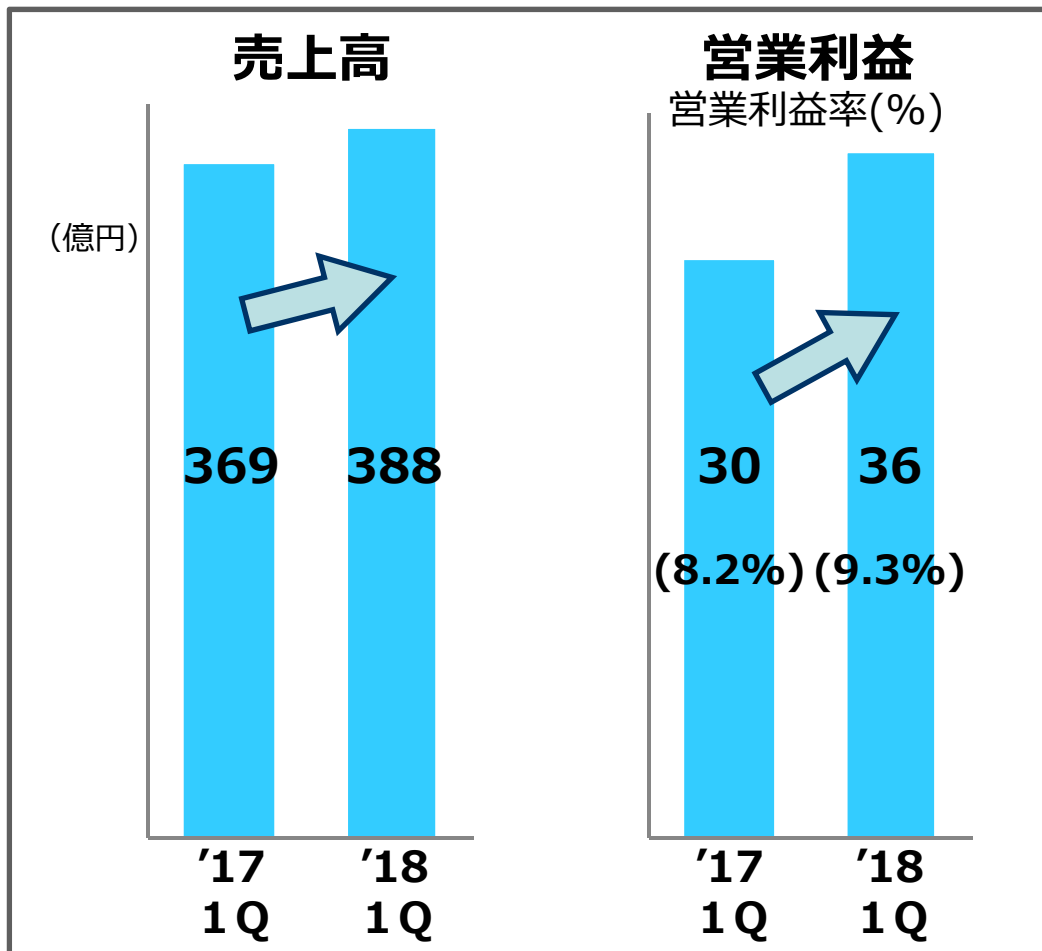
決算概要 セグメント別

(億円)

	売上高		営業利益		
	2017年度 1Q	2018年度 1Q	2017年度 1Q	2018年度 1Q	増減金額 ('17→'18)
フィルム・機能樹脂	369	388	30	36	+5
産業マテリアル	145	161	8	10	+2
ヘルスケア	76	76	9	10	+1
繊維・商事	161	148	2	2	+0
不動産・その他	33	34	7	4	-3
消去・全社	-	-	-6	-8	-2
合計	785	808	50	53	+4

フィルム・機能樹脂

フィルム事業は、“コスシャイン SRF”、セラコン用離型フィルムが牽引
機能樹脂事業は、販売が伸び悩み苦戦



● 包装用フィルム

- ・堅調な需要で売上増

● 工業用フィルム

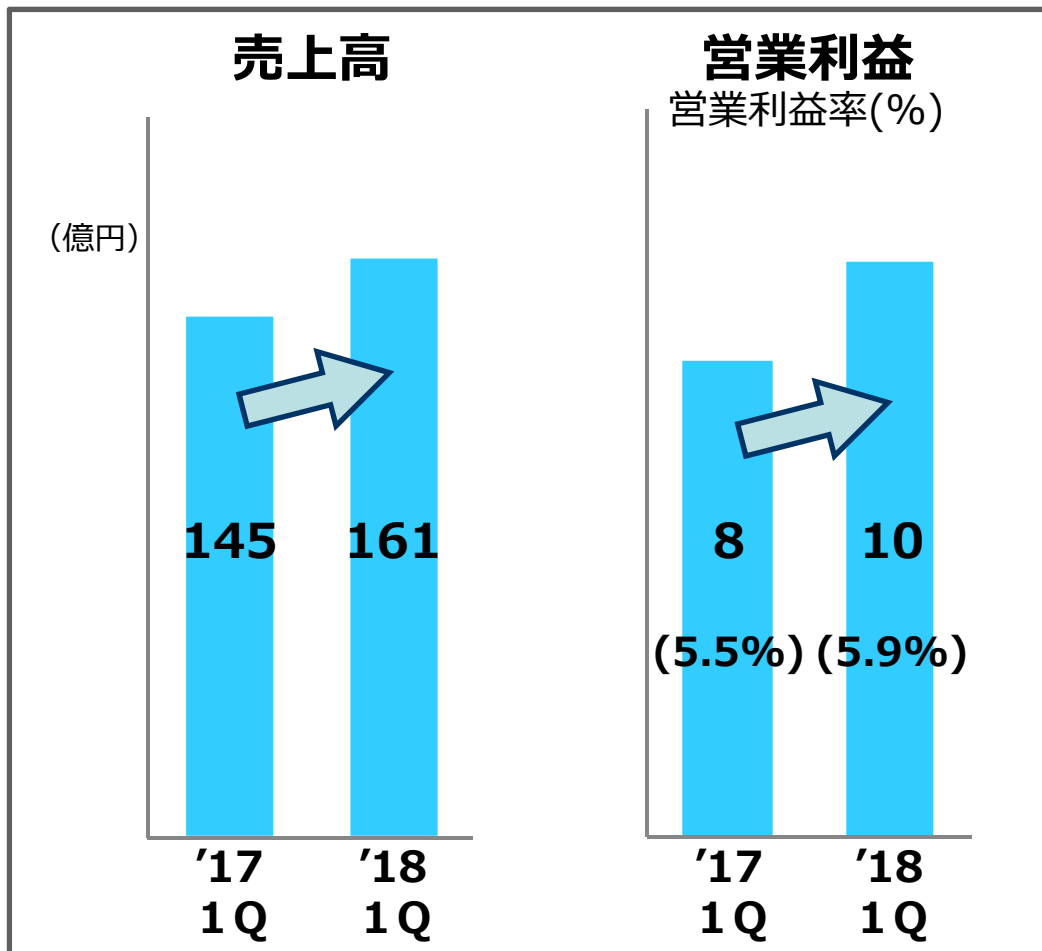
- ・“コスシャイン SRF”は、大手偏光板メーカーへの販売拡大
- ・セラコン用離型フィルムは、拡販進む

● 機能樹脂

- ・エンプラは、自動車用途の販売が拡大
- ・“バイロン”は、接着用途の販売が伸び悩み

産業マテリアル

エアバッグ用基布、生活・産業資材は、販売を伸ばす
ナイロン66の価格高騰の影響あり



● エアバッグ用基布

- ・海外顧客への販売を拡大
- ・原料価格高騰の影響あり

● 生活・産業資材

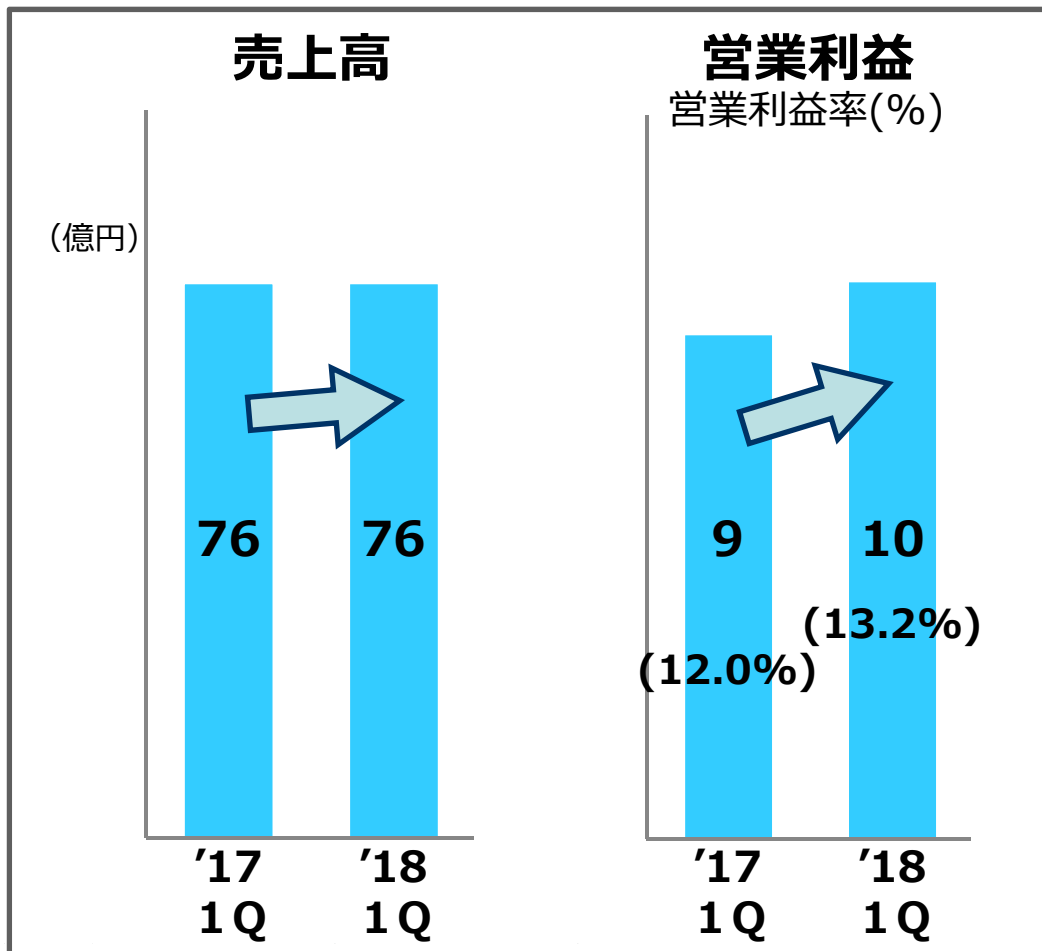
- ・PPS素材は、外部環境が改善し、回復基調
- ・“ブレスエアー”は、寝具が堅調

● スーパー繊維

- ・“ツヌーガ”は、手袋用途で販売拡大
- ・“イザナス”、“ザイロン”は苦戦

ヘルスケア

診断薬用酵素、VOC回収装置は、拡販進む
 医薬は、進捗遅れ



● バイオ

- ・診断薬用酵素は、海外で拡大

● 医薬

- ・医薬品製造受託案件は、進捗遅れ

● 医療機器

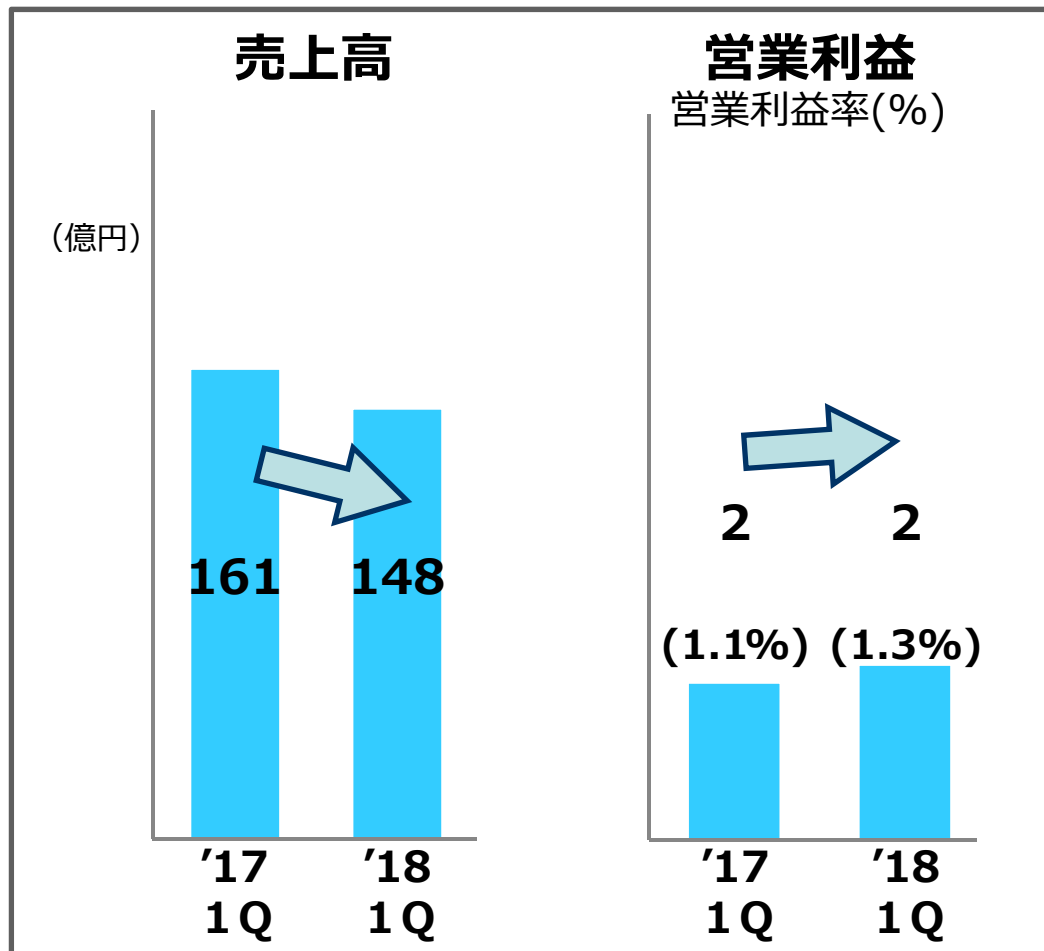
- ・“ナーブリッジ”は、米国パートナー確定

● 機能フィルター

- ・VOC回収装置は、中国で拡大

繊維・商事

シャツ製品、インナー用途は、堅調に推移
 中東向け特化生地、スポーツ衣料製品は、苦戦



● 東洋紡STC（繊維）

- ・シャツ製品、インナー用途は、堅調に推移
- ・中東向け特化生地は、市況の悪化で苦戦
- ・スポーツ衣料製品は、販売低調

成長ドライバーの進捗

■ “コスモシャイン SRF”

- ・ 1Qは約80%増収。18年度シェア約30%へ
- ・ 液晶TV市場は低価格化が進む中、販売拡大
- ・ パネル大型化、オープンセル化、ベゼルレス化で、ポリエステルの優位性顕著に



■ セラコン用離型フィルム

- ・ 1Qは約40%増収。18年度ハイエンド品のシェア約25%へ
- ・ 平滑性に優れ、ハイエンド品中心に拡販
- ・ 19年7月～新加工設備が稼働

■ エアバッグ用基布

- ・ 1Qは約40%増収。海外顧客へ販売拡大
- ・ 基布市場でシェア30%目指す
- ・ 利益面は原料価格高騰で苦戦



■ エンプラ

- ・ インドに2つ目の営業拠点を開設、海外14拠点に
- ・ 国内、海外とも自動車用途の販売が堅調



Ⅱ. 2018年度業績見通し

2018年5月10日に発表しました内容から、変更は行っておりません。

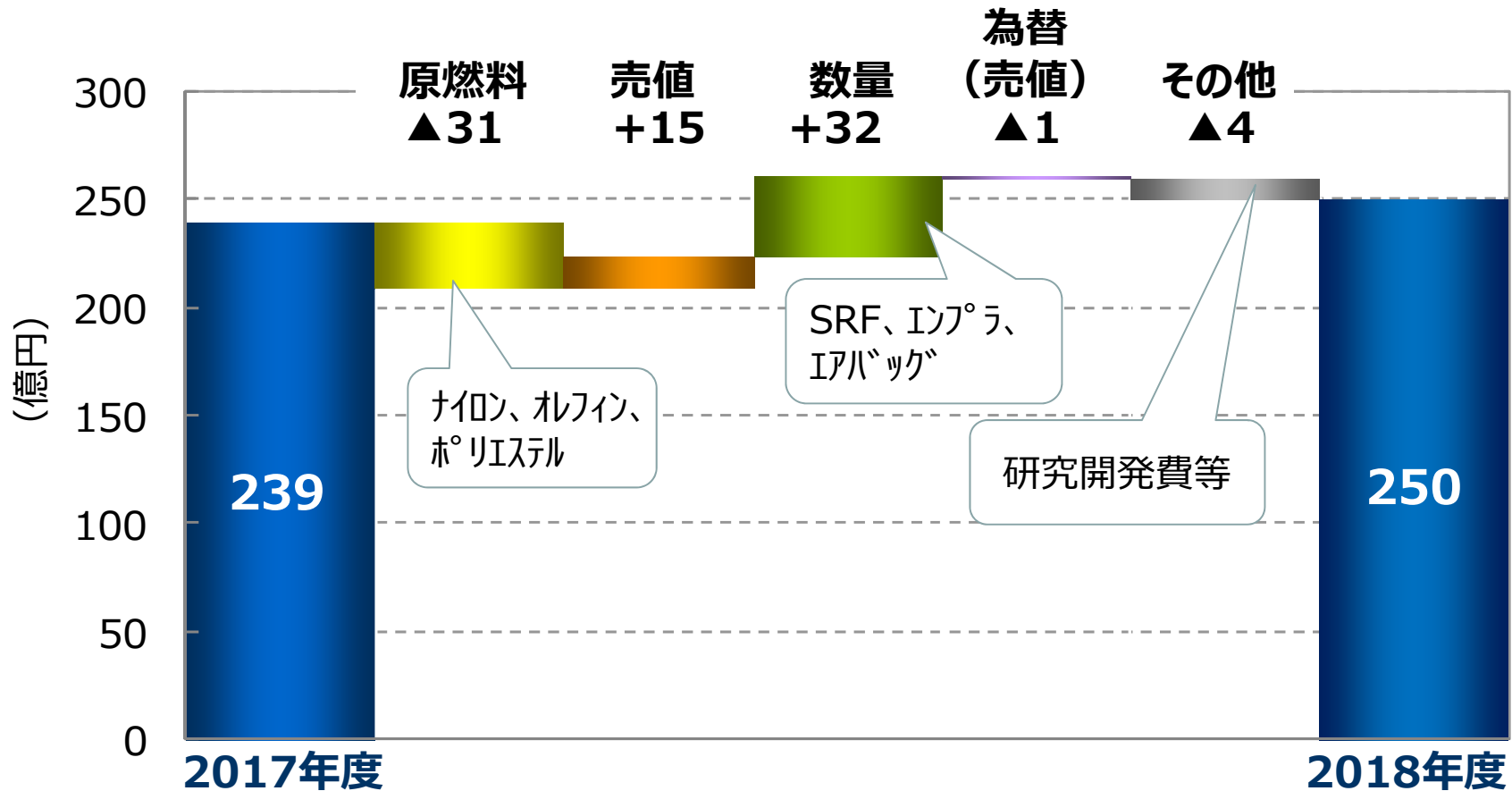
2018年度業績見通し

	2017年度 実績	2018年度 見通し	増減 ('17→'18)		(億円)
			金額	%	
売上高	3,311	3,400	+89	+2.7	
営業利益	239	250	+11	+4.5	
(営業利益率)	7.2%	7.4%	-	-	
経常利益	204	215	+11	+5.3	
親会社株主に帰属する 当期純利益	130	130	-0	-0.3	
EPS (円)	146.9	146.4	-	-	
減価償却費	157	155	-2	-	
設備投資	213	240	+27	-	

為替レート (円/US\$) 111 110

国産ナフサ価格 (千円/kl) 42 48

営業利益の増減要因



	2017年度	2018年度
為替レート (円/US\$)	111	110
国産ナフサ (千円/kl)	42	48

2018年5月10日に発表しました内容から、変更は行っておりません。

セグメント別見通し

(億円)

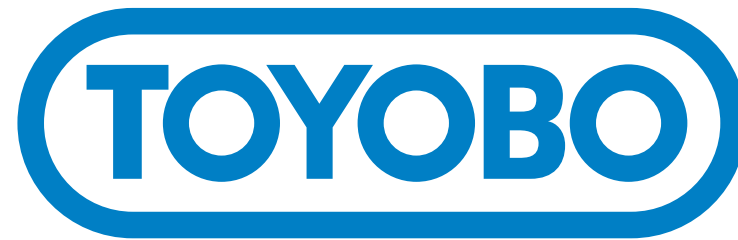
	売上高		営業利益		
	2017年度 実績	2018年度 見通し	2017年度 実績	2018年度 見通し	増減金額 ('17→'18)
フィルム・機能樹脂	1,487	1,540	137	147	+10
産業マテリアル	635	670	43	49	+6
ヘルスケア	357	370	52	55	+3
繊維・商事	683	680	6	6	-0
不動産・その他	150	140	28	23	-5
消去・全社	-	-	-27	-30	-3
合計	3,311	3,400	239	250	+11

2018年5月10日に発表しました内容から、変更は行っておりません。

ご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社



Ideas & Chemistry

All Rights Reserved